

パシフィックシステム株式会社  
2013年3月期  
決算説明会

2013年6月21日

代表取締役社長 久保 永史

- 2013年3月期連結決算概況
- 2013年度見通し
- 今後の経営方針  
14中期経営計画達成に向けて

# 2013年3月期 トピックス

## 主なIR情報

### [画像処理システム]

- ◆ シート・フィルム表面欠陥検査装置の出展
- ◆ ロボットピッキングシステムの開発

### [特許]

- ◆ 3次元画像処理技術応用による骨材判別システムの特許出願

透明  
フィルム  
対応!

ムラ判定機能搭載

## シート・フィルム表面欠陥検査装置

各種フィルム・シート、ガラス繊維、紙、樹脂などの微細な欠陥やムラを検出

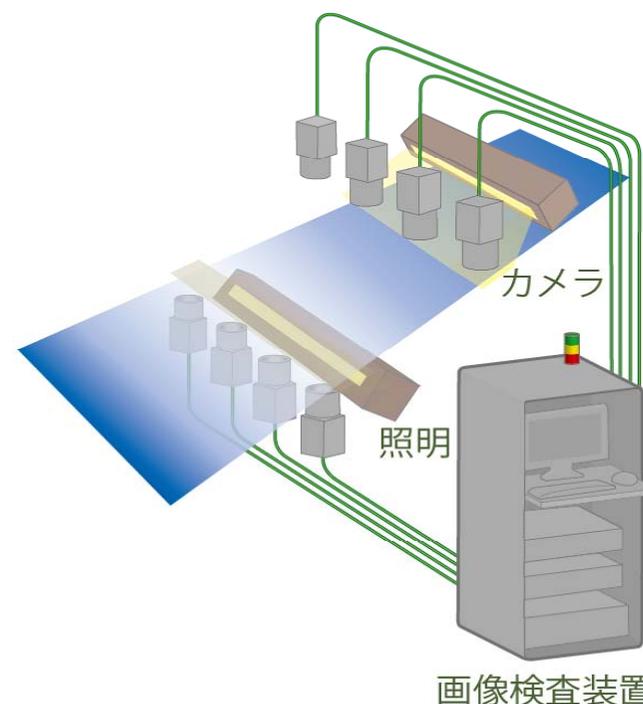
微細な欠陥からコントラストの低いムラまで高精度に検出します。  
お客様のニーズにお応えできる検査装置をご提案致します。

### 特徴

- ムラ判定機能搭載
- 透過・反射の両検査対応
- 最大10欠点同時表示
- 最大画像保存数は30000欠点/ロット
- 品種パラメーターの設定補助機能搭載

### オプション

- 表裏検査対応可能
- 外付けHDDへのデータストレージが可能  
ストレージされたデータは専用アプリケーションにて閲覧可能
- 検査ステージ(架台)の準備及び工事、プリンタ及び遠隔操作等の  
オプション機器の設置も可能
- リモート保守機能搭載可能 ※別途保守契約が必要となります。



# ロボットピッキングシステム

画像処理とロボット制御による広い適応範囲で様々なソリューションを実現！

## 特徴 - Special Feature -

撮影した対象物の特徴、文字などを画像判別しながらロボットを制御

ロボットへのティーチングの必要なし

リアルタイム3次元画像処理により空間の環境を瞬時に把握しピッキング

食品、工業製品など、シーンを問わずピッキングにおけるソリューションを実現可能！

様々な形の物体の中から  
ある特定の物体のみを  
取り出す作業を自動化し  
たい...



まずはお気軽にご相談ください。

## 展示構成例 - Example -



# 2013年3月期 連結決算概況

(単位：百万円)

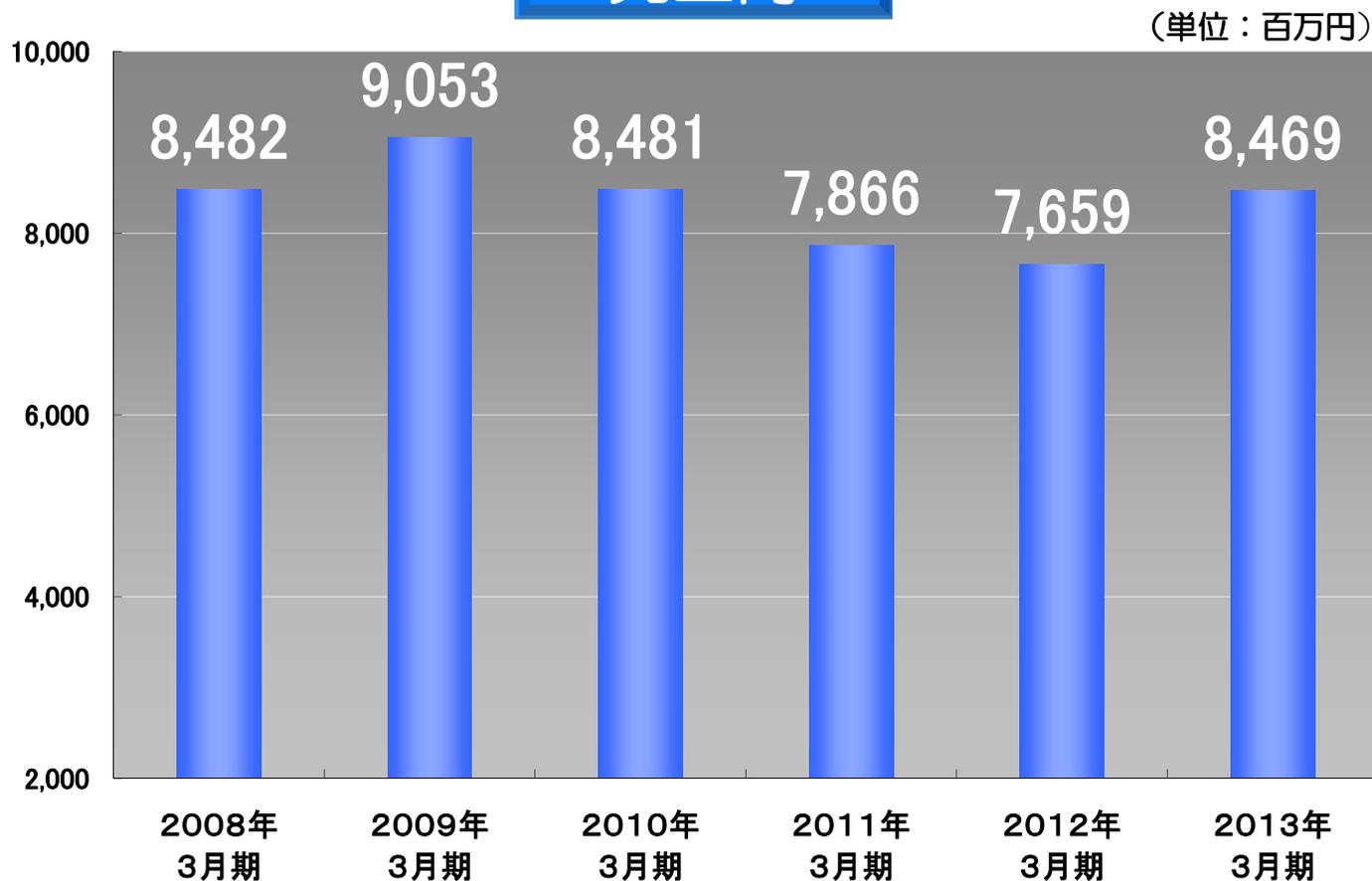
決算期	2012年 3月期 (A)	2013年 3月期 (B)	前期比 (B-A)	増減率
売上高	7,659	8,469	810	10.6%
売上総利益 (利益率)	1,524 (19.9%)	1,804 (21.3%)	279	18.3%
販売管理費	1,287	1,355	68	5.3%
営業利益	237	448	211	89.2%
経常利益	245	473	228	93.2%
当期純利益	92	281	188	203.8%

2013年3月期の連結決算は、前期比で増収、増益となりました。

- 売上高は、システム販売、ソフトウェア開発の増加により増収
- 営業利益・経常利益・当期純利益は、増収及び原価低減により増益

# 2013年3月期 売上高の推移

## 売上高



- 売上高は減収基調から前期を底に増収となりました。

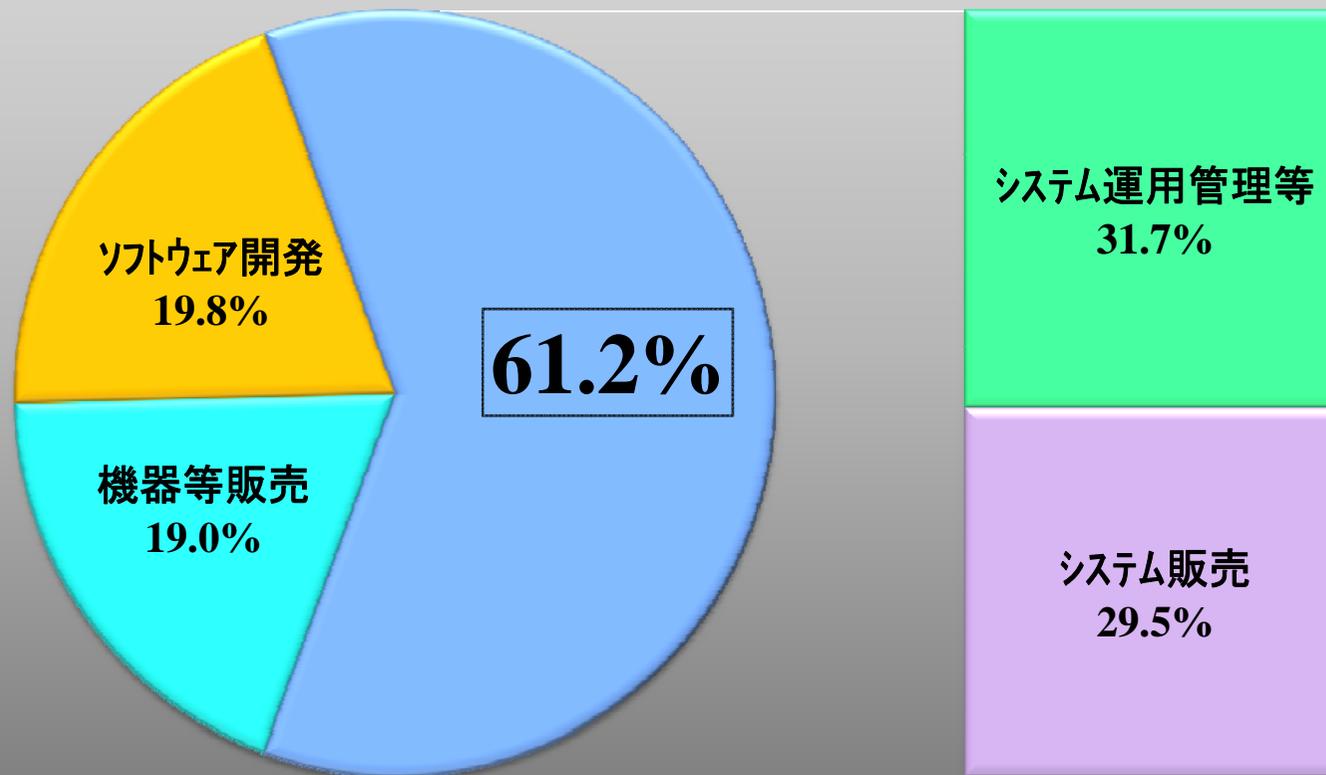
## 2013年3月期 事業区分別の売上高

区分	内容	売上高 (百万円)	前期比
システム運用・管理等	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム運用・管理サービス</li> <li>データセンタ</li> <li>パソコン教育、保守サービス等</li> </ul>	2,681	▲0.8%
システム販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>画像処理システム</li> <li>生コンクリート業界向けシステム等販売</li> <li>ネットワーク構築等のインフラサービス</li> </ul>	2,500	26.4%
ソフトウェア開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造・流通・金融業等のアプリケーションシステムの受託開発</li> <li>製造業向けERP事業のコンサルと開発</li> </ul>	1,674	23.7%
機器等販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコン・サーバ及び周辺機器</li> <li>パッケージソフト等の仕入・販売</li> </ul>	1,612	▲0.6%
合 計		8,469	10.6%

- 「システム運用・管理等」は、前期並みに推移
- 「システム販売」は、画像処理システム、生コンクリート業界向け情報システム案件の増加及び前期からのずれ込みにより増収
- 「ソフトウェア開発」は、大型プロジェクト完成及び開発案件の増加により増収
- 「機器等販売」は、前期並みに推移

# 2013年3月期 事業区分の構成比

事業区分別売上高の構成比

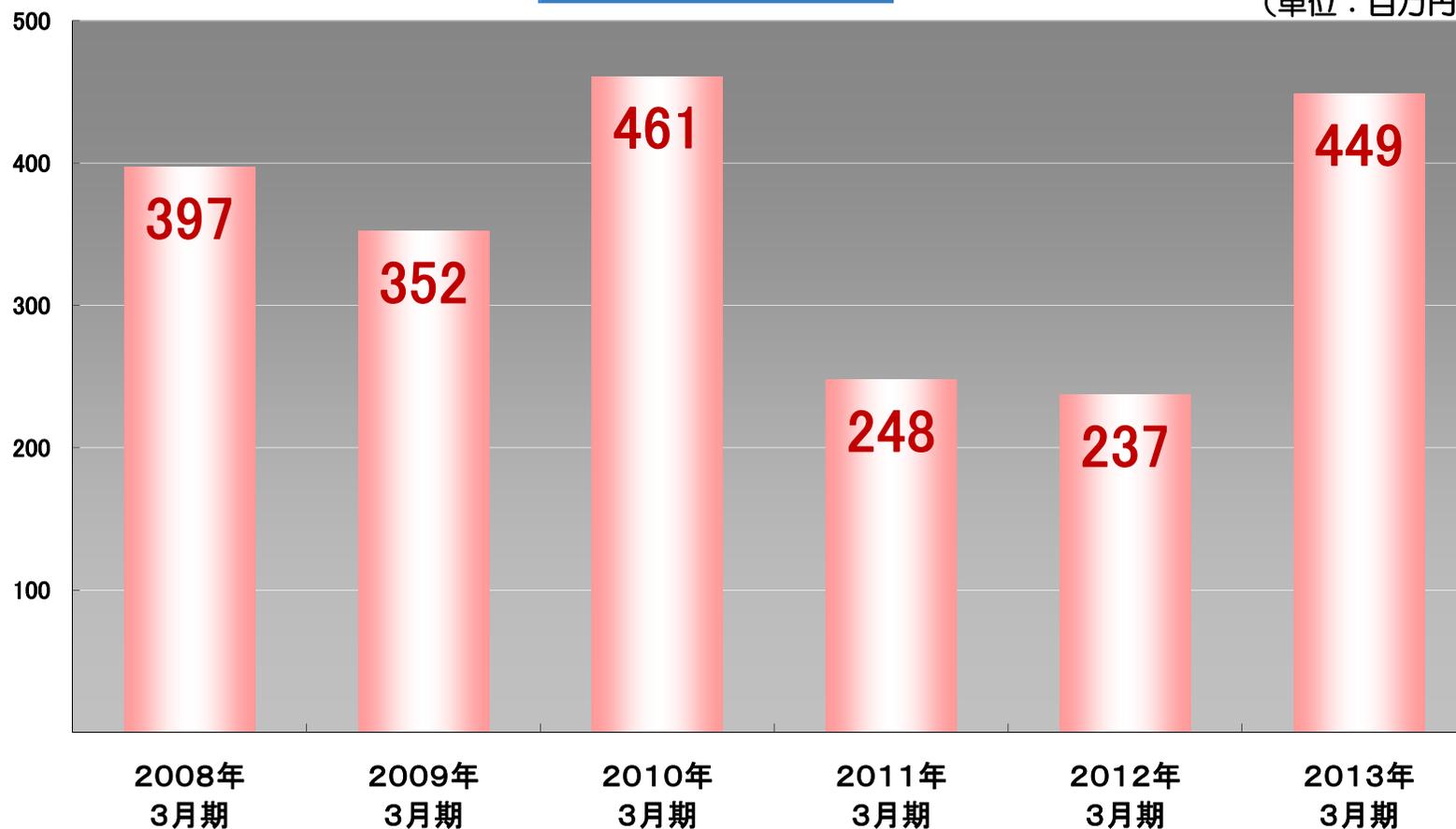


- システム販売の構成比は増加しましたが、システム運用管理等が減収であったため、主要事業区分（システム運用管理等＋システム販売）の構成比は61.2%に止まりました。

# 2013年3月期 営業利益の推移

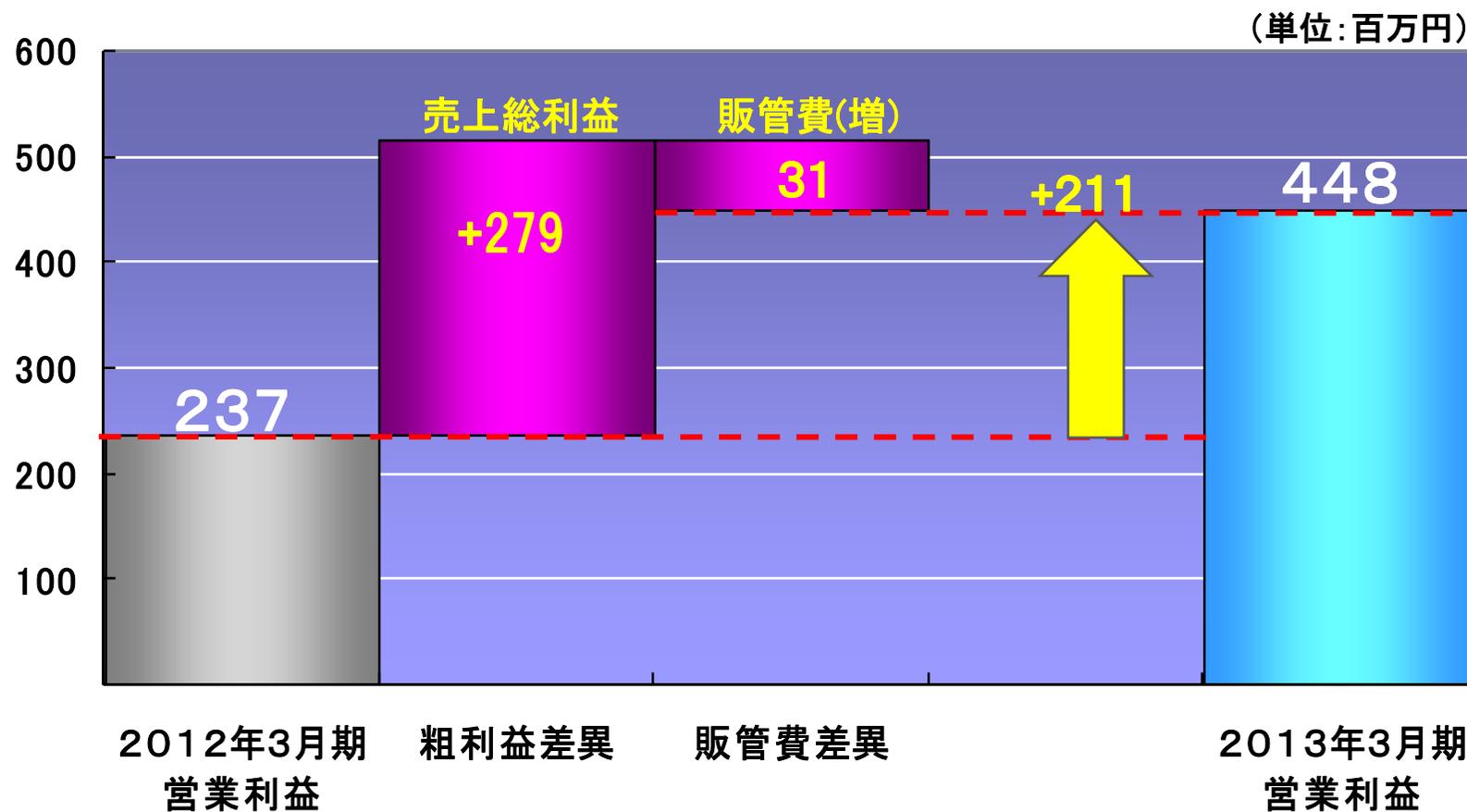
## 営業利益

(単位：百万円)



- 営業利益も低迷傾向から、前期を底に増益となりました。

# 2013年3月期 営業利益分析



- 増収および原価率の低減により、販管費が増加したものの大幅増益

# 2013年3月期 事業区分別のセグメント利益

区分	内容	セグメント利益 (百万円)	前期比
システム運用・管理等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム運用・管理サービス</li> <li>・データセンタ</li> <li>・パソコン教育、保守サービス等</li> </ul>	719	5.1% 増
システム販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像処理システム</li> <li>・生コンクリート業界向けシステム等販売</li> <li>・ネットワーク構築等のインフラサービス</li> </ul>	309	289.2% 増
ソフトウェア開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造・流通・金融業等のアプリケーションシステムの受託開発</li> <li>・製造業向けERP事業のコンサルと開発</li> </ul>	158	0.4% 増
機器等販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン・サーバ及び周辺機器</li> <li>・パッケージソフト等の仕入・販売</li> </ul>	127	6.1% 増
調整額（販売費・一般管理費）		▲865	7.6% 増
合 計		448	10.6% 増

- 「システム販売」は、画像処理システム、生コンクリート業界向け情報システム案件の増加に加え、原価低減により大幅増益
- 「ソフトウェア開発」は、大型プロジェクト案件の原価上昇により微増

# 2013年3月期 連結財務諸表

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	3,858	流動負債	2,441
		固定負債	803
		負債合計	3,245
固定資産	2,449	純資産の部	
		純資産合計	3,062
資産合計	6,308	負債・純資産合計	6,308

# 2013年3月期 連結財務諸表

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
<p><b>【純資産合計】</b> 前期比で <b>8.3%増加</b></p> <p><b>【自己資本比率】</b> <b>46.4% → 48.6%</b></p>		流動負債	2,441
		固定負債	803
		負債合計	3,245
		純資産の部	
	純資産合計	3,062	
資産合計	6,308	負債・純資産合計	6,308

# 2013年3月期 連結財務諸表

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	3,858	流動負債	2,441
		固定負債	803
		負債合計	3,245
		純資産の部	
		純資産合計	3,062
資産合計	6,308	負債・純資産合計	6,308

**【1株当たり純資産】**  
**前期比で 159円29銭 増**

**一株当り純資産 2,069円 81銭**

# 14中計との対比 ー損益比較ー

(単位：百万円)

【連結】	14中計(A) 2013年3月期	決算(B) 2013年3月期	差異 (B-A)	増減率
売上高	8,608	8,469	▲139	▲1.6%
売上総利益 (利益率)	1,759 (20.4%)	1,804 (21.3%)	44	2.5%
販売管理費	1,362	1,355	▲7	▲0.6%
営業利益	397	448	50	12.8%
経常利益	397	473	75	19.1%
当期純利益	240	281	41	17.1%

2013年3月期決算は、売上高は計画を下回りましたが、利益は計画を上回りました。

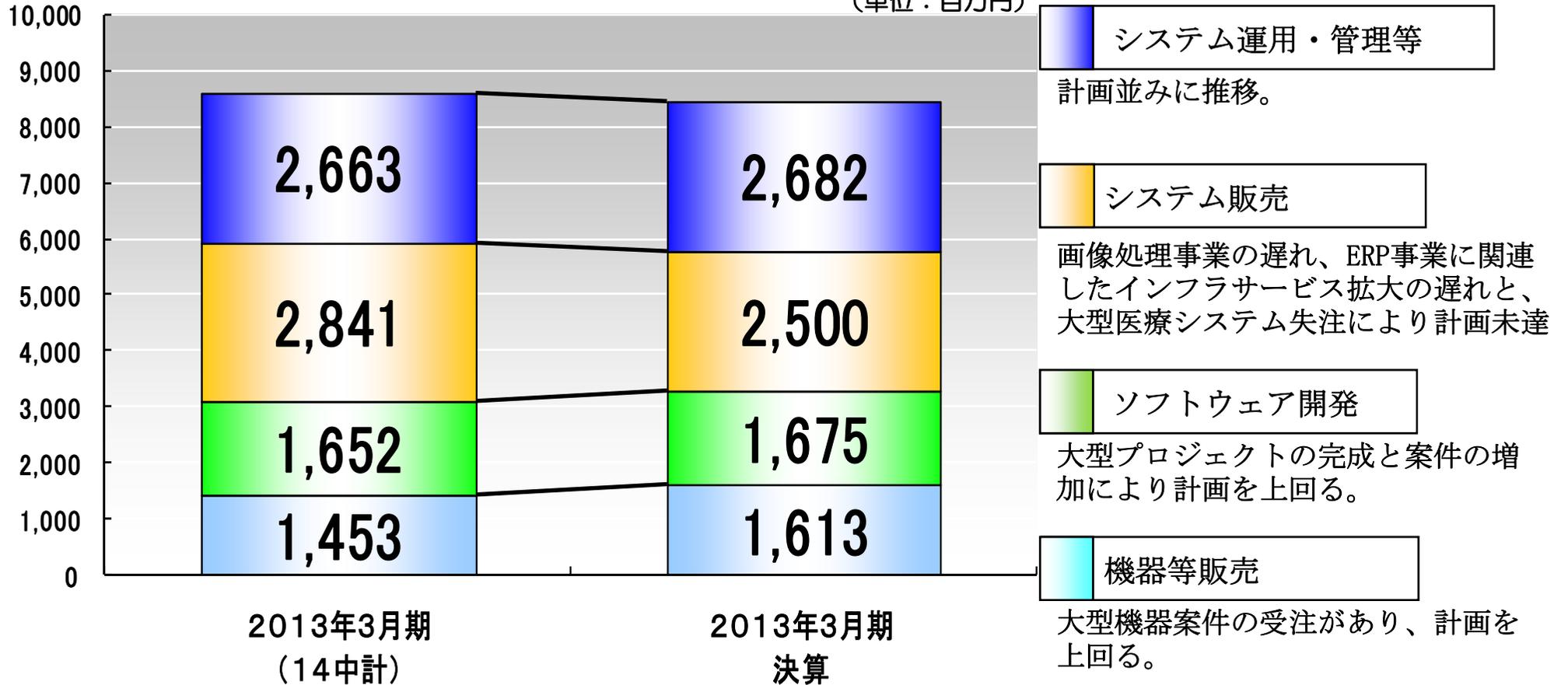
- 売上高は、システム販売が計画を下回り減収
- 一方、営業利益は原価低減並びに販売費及び一般管理費の削減により増益

# 14中計との対比 一事業区分別の比較一

**連結**

【事業4区分別売上高の比較】

(単位：百万円)

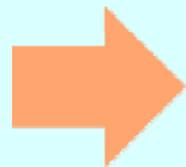


# 2013年度見通し

# I T業界の最近の動向（市場）



国内景気の回復期待が高まっているが・・・



情報サービス業界は、環境の変化による  
情報化投資の抑制で、市場が伸び悩む・・・

# 当社を取り巻く状況

## 顧客の動向

- ◆ 一部大口顧客の業績悪化による大幅な投資抑制の懸念

## 14中計(2012年度～2014年度)の進捗状況

- ◆ 画像処理事業 . . . 拡大計画が遅れている。
- ◆ ERP事業 . . . 推進計画が遅れている。
- ◆ データセンタ事業 . . . ERP事業の遅れが新規運用業務獲得に影響している。

# 2013年度業績予想 — 14中計との対比 —

(単位：百万円)

決算年度 【連結】	2013年度 中計(A)	2013年度 業績予想(B)	計画(予算)比 (B-A)	増減率
売上高	9,506	9,354	△152	△2%
売上総利益 (利益率)	1,925 (20.3%)	1,931 (20.6%)	6	0%
販売管理費	1,413	1,505	92	7%
営業利益	512	425	△87	△17%
経常利益	505	426	△79	△16%
当期純利益	—	258	—	—

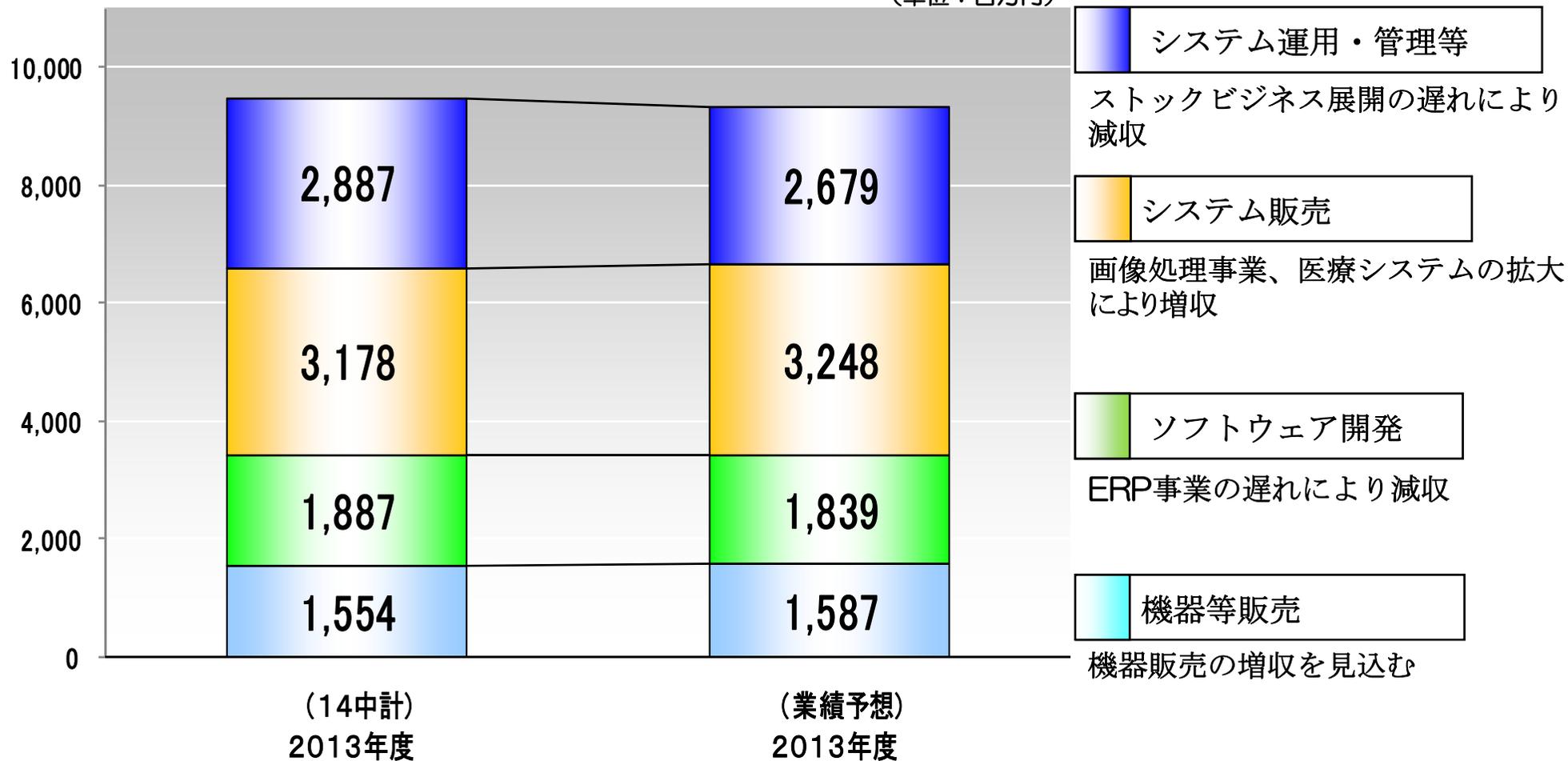
- 売上高は、システム販売の拡大及びストックビジネス展開への遅れにより減収
- 利益については、営業の強化及び新商品開発のための研究開発投資を予定したことにより販売費及び一般管理費が増加し減益

# 2013年度業績予想 — 14中計との対比 —

連結

## 【事業4区分売上高の比較】

(単位：百万円)



# 2013年度について

今期（2013年度）は、14中計最終年度（2014年度）につなぐ年と位置付け、目標達成に向け諸施策を実施することにより目標達成を確かなものにする。

# 今後の経営方針

14 中期経営計画達成に向けて

# 今後の経営方針

## 14中計数値目標

### 2014年度 損益目標

売上高	103億円
営業利益	6.5億円

### 2015年度 売上比率

「システム運用管理」 + 「システム販売」	70%以上
--------------------------	-------

### 2013年度 環境目標

CO2排出量を2008年度比50%削減する

# 今後の経営方針 <<1>>

## 【基本方針】

- ① スtockビジネスの拡大を目指し、クラウド事業を推進する。
- ② 画像処理事業を中核の一つとして、システム販売を拡大する。
- ③ 顧客満足度を向上させる。
- ④ 生産性を向上させる。
- ⑤ 環境経営を推進する。

# 今後の経営方針 《2》

## 【重点施策】

- ① データセンタ業務を拡大する。
- ② サービス化を推進する。
- ③ ERP事業の拡大と同事業の運用保守業務獲得を推進する。
- ④ 新規ビジネスを展開する。
- ⑤ 画像処理事業においてシステム商品の開発を推進する。

(次項に続く)

# 今後の経営方針 《3》

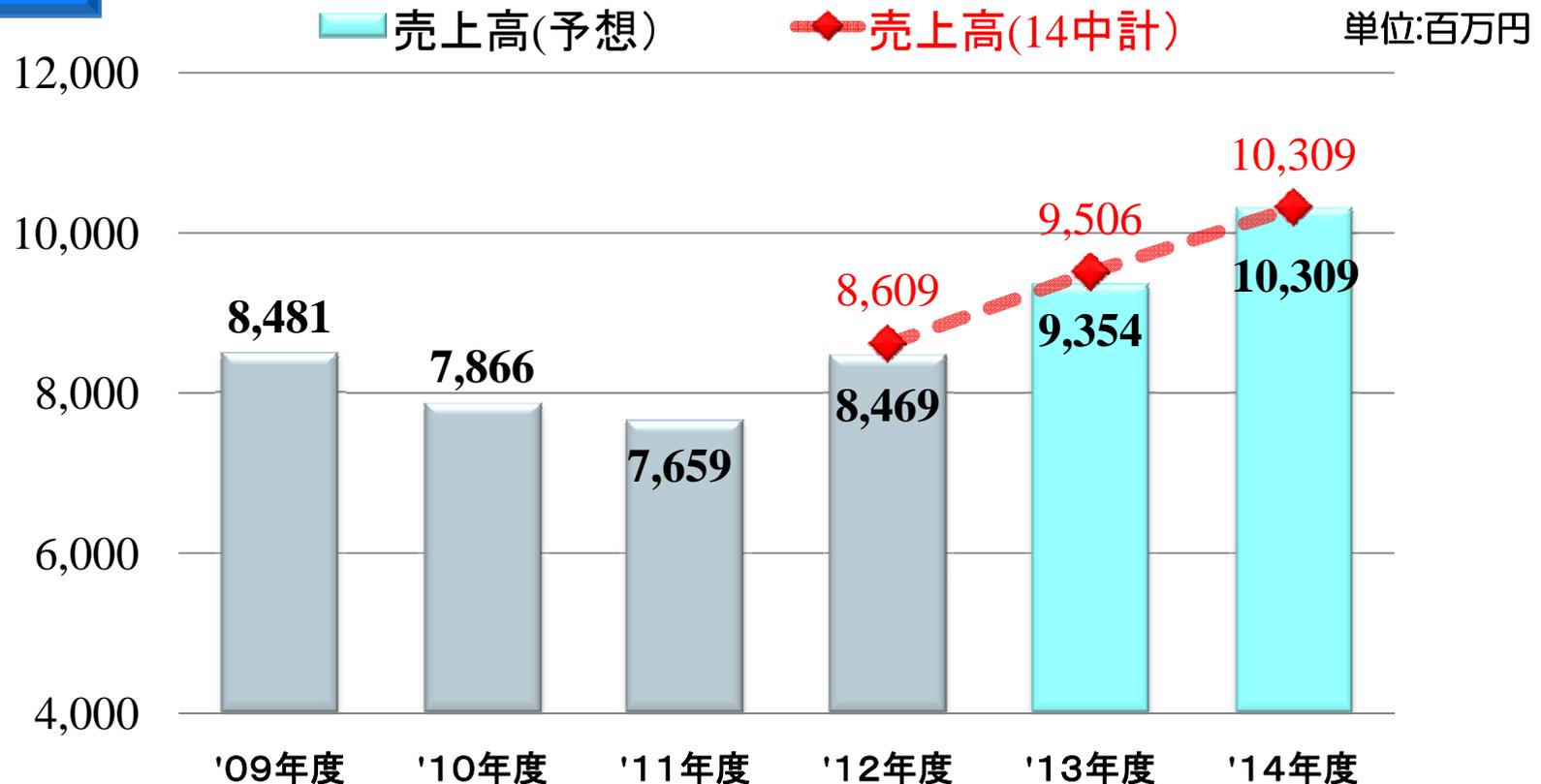
- ⑥ 生コンクリート関連システム商品のリニューアル推進とシェアアップを図る。
- ⑦ 顧客との親密性を深め、関係を強化する。
- ⑧ プロジェクト管理を強化し、赤字案件の発生を防止する。
- ⑨ 営業効率の向上及び営業力の強化を図る。
- ⑩ 一般管理費を削減する。
- ⑪ 省エネルギーを推進する。

# 今後の経営方針

## 14中計見通し ー売上高ー

連結

### 【売上高の実績・予想と14中計推移】



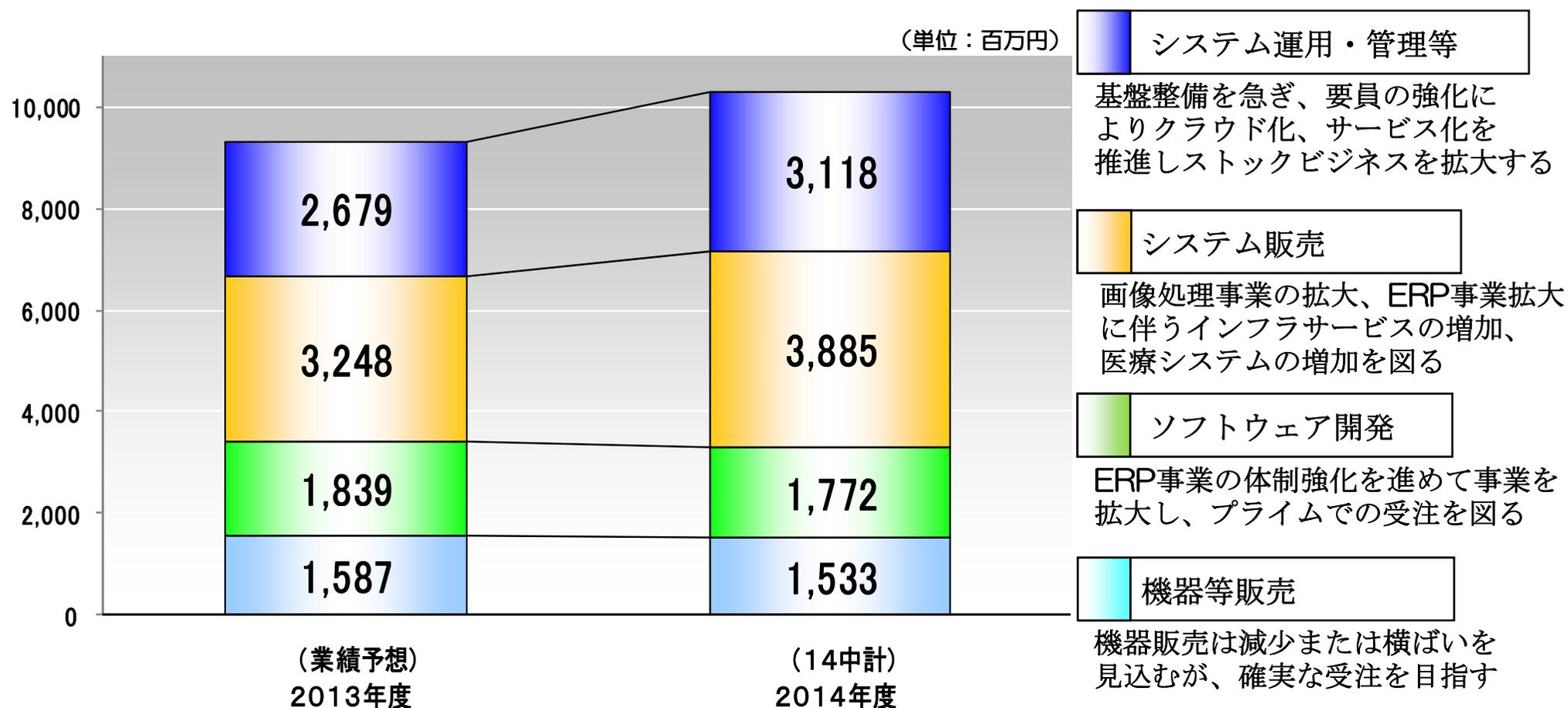
- 今年度の売上高は14中計の2013年度計画を下回る見通しであるため、更なる新商品開発による新規顧客開拓、営業力強化などにより14中計達成に取り組みます。

# 今後の経営方針

## 14中計見通し — 事業区分別売上高 —

連結

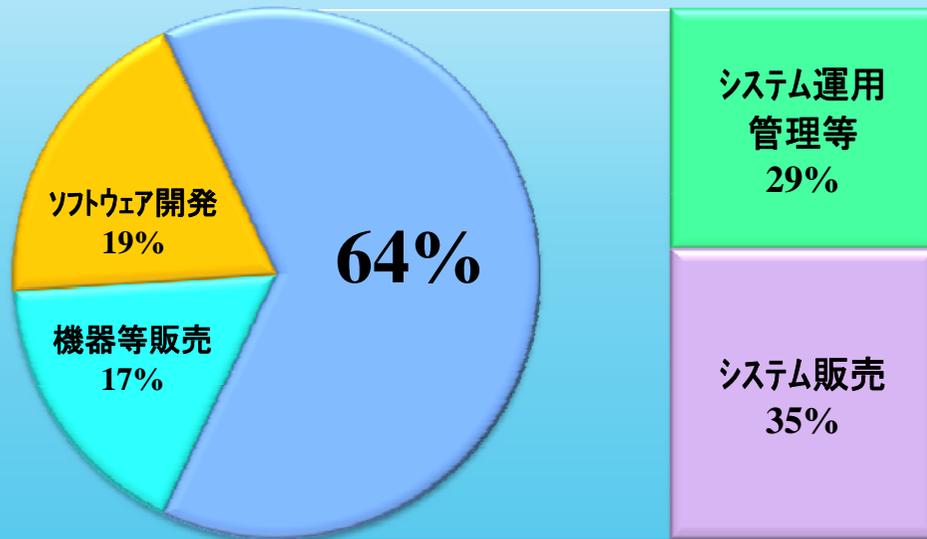
【事業4区分売上高の比較】



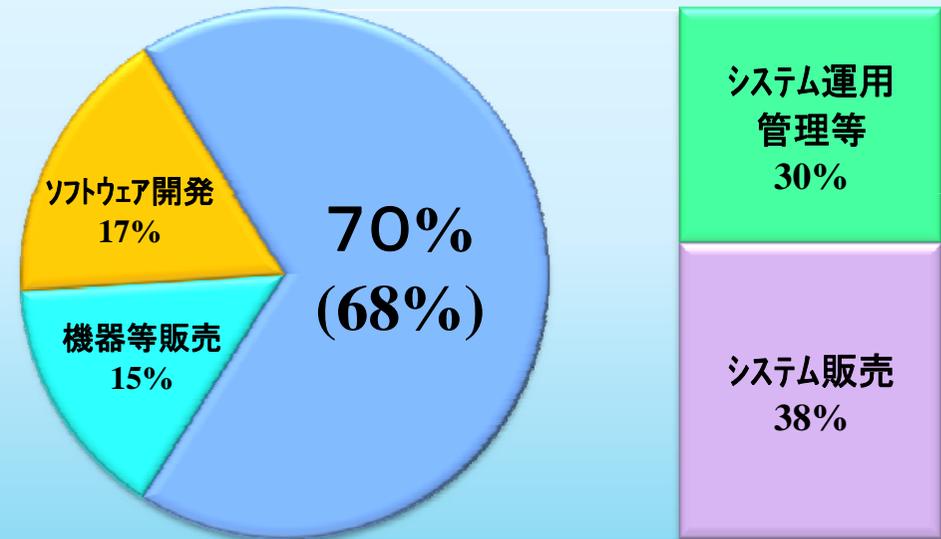
# 今後の経営方針

## 14中計見通し —事業構成—

2013年度 の予想売上高構成比



2014年度の14中計売上高構成比



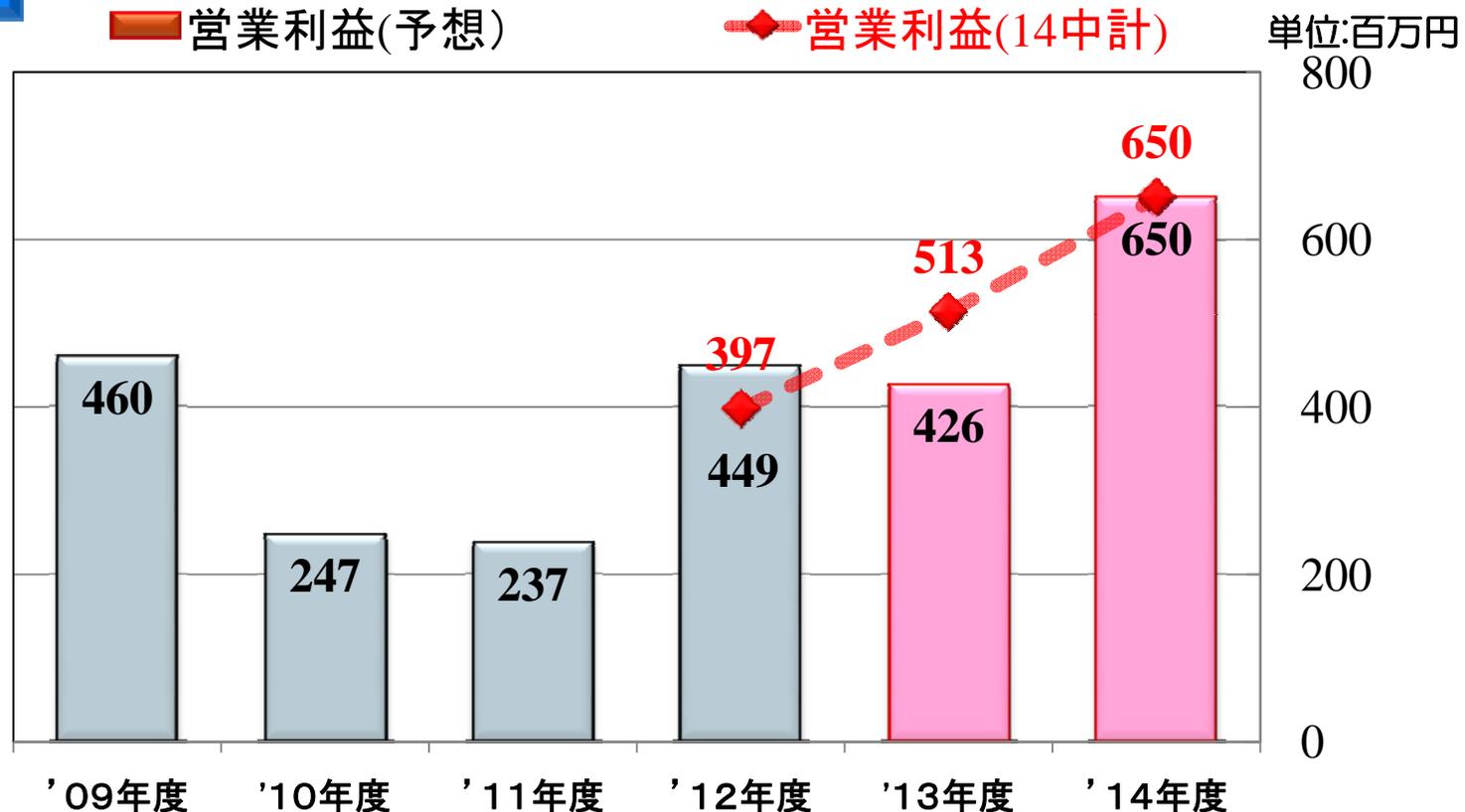
- 主要事業区分（システム運用管理等＋システム販売）は、今年度64%を見込む
- 最終年度の2014年度は68%であるが、ストックビジネス拡大を進め70%以上を目指す

# 今後の経営方針

## 14中計見通し — 営業利益 —

連結

### 【営業利益の実績・予想と14中計推移】



- 今期は将来に向けての研究開発や新商品開発、更なる営業要員増強のため販管費等が増加し営業利益が計画及び前期を下回る見込みであるが、2014年度へつなぐ年度と位置付ける。

# 今後の経営方針

## 14中計見通し — 環境目標 —

### 2013年度 環境目標

CO2排出量を2008年度比50%削減する

2012年度は2008年度比 32% 削減

### 2013年度 取組計画

- ① LED照明設備設置の拡大
- ② エアコンの更新(高効率エアコンへ)
- ③ エアコン室外機への散水設備設置
- ④ 窓ガラス対策の実施
- ⑤ 電力監視制御への取り組み

## 見通しに関する注記事項

本資料中の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がありますので、その点ご承知おき頂きますようお願い致します。

お問合せ先は、下記にお願いします。

- ・ パシフィックシステム株式会社 総合企画部
- ・ 電話 : 048-845-2200
- ・ FAX : 048-845-2260
- ・ URL : <http://www.pacific-systems.co.jp/>

